

地域おこし協力隊通信

町で活躍する地域おこし協力隊員の日々の様子や取り組みを紹介！



MINANOOKOSHI



バイセンバイ・ゼレ
(高校魅力化担当)



タペノワ・グルデン
(高校魅力化担当)



2019年に参加した三沢小の収穫祭

こんにちは。皆野町地域おこし協力隊のグルデン（令和2年9月活動開始）とゼレ（令和3年1月活動開始）です。私たちはカザフスタン出身です。早稲田大学への留学時代、中山間ふるさと支援隊として皆野町のいろいろなイベントに参加し、地域の子どもたちや高齢者と交流しました。伝統的な文化に触れ、皆野町について知ったことをきっかけに、地域おこし協力隊として活動を開始しました。

★国際クラブ「High Five」

7月16日（金）から皆野高校で「High Five」という国際クラブを開始しました。クラブの目的は国際的な環境を作り、高校生は英語力を高めること、新しい文化を知ること、異なる価値観を分けることと異文化理解を深めることです。初めてのイベントでは、英語で秩父音頭の踊りを学び、オンライン秩父音頭向けの撮影とインタビューを実施しました。

これからは、英語能力とコミュニケーション能力の上達につながる活動をします。例えば、英語で映画を見たり、外から人を呼んで講座を行ったり、町のPRにもつながる活動を予定しています。

★オンライン秩父音頭

8月14日（土）、第2回のオンライン秩父音頭を開催しました。今回はカザフスタン、タイから28人が参加しました。久しぶりに友達とオンラインで会えて、とても嬉しく、祭りの雰囲気を感じました。

オンライン秩父音頭を開催するために、1ヶ月前から準備を始めました。今年のオンライン秩父音頭も楽しく盛り上げるために、「秩父音頭を世界に」という海外向けのビデオを作成しました。ビデオ作成に皆野高

★町民の皆さんへ

校の皆さん、皆野町剣友会三沢道場クラブの皆さん、瑞穂太鼓會の皆さん、PASTEL KITCHENの代表・ダンサー大浜尚喜さん、リトリートフィールド Mahora 稲穂山の皆さん、また早稲田大学の皆さんに協力していただいたおかげで、無事撮影できました。

当日は、まず秩父音頭と皆野町を参加者の皆さんに紹介しました。その後大浜尚喜さんに秩父音頭の踊り方を教えてもらい、みんなで踊りました。海外にいる方々は、コロナの影響で日本に入国できないけれど、今回のオンライン秩父音頭に参加することで、日本の祭りを感じ、日本の方々と話しができ、とても嬉しかったそうです。私たちは、優しい感想を聞き、やりがいを感じました。

今後の予定は多言語での町マップを作成すること、他の地域の地域おこし協力隊と交流を行うこと、皆野高校生とイベントやオンライン交流会を行うことです。皆野町の皆さんともっと交流できたいと思いますので、ぜひ声をかけて欲しいです。英語の授業のサポートが欲しい方、異文化に触れてみたい方、私たちが協力します。



来年は皆野町で会いましょう！

オンラインでも楽しく踊れました。

秩父音頭について日本語と英語で紹介しました。